

学校番号	11	学校名	藤枝特別支援学校 焼津分校	校長名	岩附 祥子
------	----	-----	---------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標 **「ひびき合い、つくり合う」中で、自立に向けて力強く生きる人を育てる**

【分校合言葉】 **「地域で自立し、地域に貢献する人になろう」**

【目指す学校像】 ア 生徒と教職員が健やかに朗らかに、安全で安心な生活ができる学校

イ 生徒が学びを深め、確かな成長を積み上げる学校

ウ 生徒が教職員や保護者、地域と共に、より良い生活（なりたい自分）をつくる学校

【目指す生徒像】 ア たくましくしなやかな心と体をもつ生徒

イ 家庭・学校・地域の一員としての自覚を持ち、責任ある行動がとれる生徒

ウ 自分の生活をマネジメントできる生徒

(2) 目標具現化の柱 **「効率よくかつ効果的な業務遂行のもとに」**

ア 安心して学べる環境をつくる 【安全・安心】

イ 学びと成長を積み上げる授業をつくる 【授業】

ウ より良い生活づくりをともに支える関係をつくる 【連携】

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）*「業務改善」についても記入する。

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 安全・安心	命を守る危機管理・安全管理体制の整備と対応力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時対応の体制や内容の整備と各対応法の反復確認 多様な場面を想定した訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルを活用し、主体的・具体的に行動できた教員（自分の動きが分かる教員）100% 安全点検、スクールクリーンを有効に活用し、環境整備や安全対策を行った教員100% 	生徒指導 保健体育 教務連携 (情報)
	自他を尊重し合う 人権感覚の涵養	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育全体計画に基づく人権教育の実践 多様性、個々の良さを認め合う生徒指導 困りごとの積極的把握と早期対応 	<ul style="list-style-type: none"> 自分から相手に伝わる挨拶や感謝の言葉が言えた生徒・教員100%。挨拶をされた保護者・参観者100% 共感や相手を思いやる言動が取れた生徒・教員100% 人権教育全体計画に基づいて多様性や個々の良さを認め合う指導を行った教員100% 人間関係等の困りごとの積極的把握に努め、早期に組織的に対応したと答える教員100% 早期に対応してもらえたと答える生徒・保護者100% 	学年 生徒指導
イ 授業	生徒が学びを深め、確かな成長を感じる授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> 「主体者として責任をもって行動できる力を高める授業づくり」をテーマとする校内研修の実施 ICT端末活用の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 授業をとおり「学んだことが分かる」「成長を感じる」ことができた生徒・保護者90% 学習評価をし、教材研究と授業改善を行った教員100% 授業でICT端末を使い、課題解決に向け活用することができた生徒・教員100% 	研修・学習指導 保健体育

様式第1号

	授業改善と効果的な業務遂行につながる専門性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・OJT等専門性の高い人材からの研修機会の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修での学びを授業改善や生徒指導に反映できた教員 90% ・業務の目標や重要点とスケジュール（期限）を自分で考え、効果的に業務を行った教員 90% 	研修・学習指導 学年
ウ 連携	お互いの理解が深まり、学びある交流・共同学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や目標を明確にした交流・共同学習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流活動の目標を達成することができた生徒 100% ・双方の理解や成長を促す交流活動ができたと評価する教員、保護者、交流相手 90% 	教務・連携 学年
	「より良い生活」「なりたい自分」に向けた本人の歩みを支える連携	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア面談の計画的実施 ・保護者や地域と連携したキャリア教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人中心で、個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成し、活用した生徒・教員・保護者 100% ・保護者や職場実習先、関係機関等と情報を共有し、「なりたい自分」の実現に向けた支援を行った教員 100% 	教務・連携 進路 学年

(記入上の留意点)

1 (1) (2) の欄は、抽象的な理念にとどまらず、学校の特色を明解に表現すること。また、具体的な重点項目が外部にわかりやすいよう工夫して記載すること。